新年のごあいさつ
「町制施行一〇〇周年に向けて」

新年明けましておめでとうございます。

今冬は、例年になく雪が少なく町民の皆様におかれましては、比較的過ごしやすい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

しかしながら、一月一日に能登半島を震源とする最大震度7を観測した能登半島地震や、翌二日には、羽田空港における航空機による衝突事故が発生し、重苦しい新年の始まりとなりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復興をご祈念するものであります。

昨年を振り返りますと、グリーンバレー神室一帯の方向性が示され、ホットハウスの改築やスキー場の土曜・日曜・祝日・年末年始に限定した営業など新たな動きが始まりました。

町議会では、昨年五月の改選により新たな体制でスタートし、町とともにDXの推進をはじめとする改革を進めてまいります。

さらには、全国的に人口減少が大きな課題となっており、様々な対策を行ってきたところでありますが、十一月末の金山町の人口は、四千九九七人と想定より早く五千人を割る状況となっておりますので、交流人口・関係人口の拡大方策についても検討をしているところであります。

今年は辰年です。辰は十二支の中で最も縁起の良い干支と言われており、様々な願いを叶えてくれるだけではなく、あらゆる物事をいい方向に導いてくれる力があるとされております。

令和七年一月一日には、金山町が誕生して満百歳を迎えます。官民が一体となって絆を深め、天に昇る龍のように勢いのある年となりますよう期待するものです。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸、そして、未来に向けて明るい第一歩を踏み出せる年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和六年一月吉日

金山町議会議長　栗田　保則

後列　左から　宮林聡志議員　星川智子議員　中村忠行議員　大場洋介議員　五十嵐優一議員
前列　左から　須藤典夫議員　矢口政一議員　栗田保則議員　沼澤道也議員　寒河江宏一議員

新庄南高金山校生徒による模擬議会

12月22日（金）に新庄南高金山校模擬議会が行われた。

5回目となる模擬議会は、6名の高校生議員が執行部に対し一般質問を通告し、町の活性化策を提言した。

執行部からは、「是非実現したい」や「町の既存施設を活用し、昭和五十年代前後の物品を展示することを検討したい」などの答弁を引き出した。

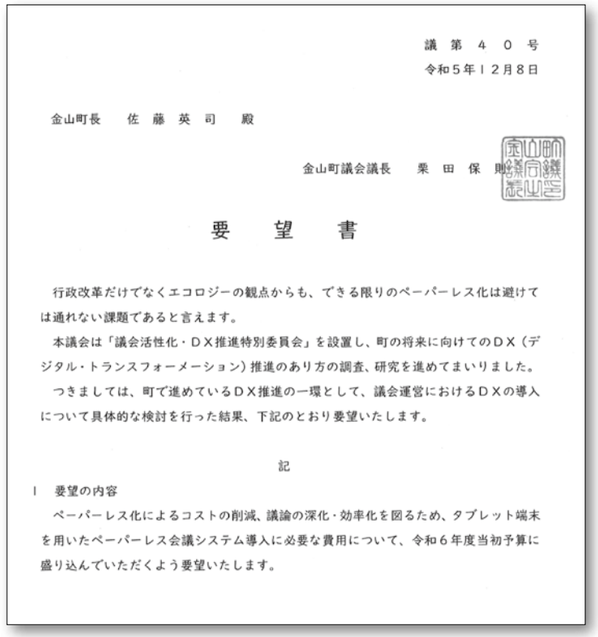
若者の政治・行政への関心が高まっていることを感じた一日であった。

①佐藤信康（のぶやす）議員…通学路の修繕と遠距離通学者への支援を
②星川怜紅（れく）議員…「昭和レトロ館」を金山町に
③今田秀愛（ひでよし）議員…麻雀で高齢者と若者の交流を
④齋藤悠菜（ゆうな）議員…外国から来た人への町の支援と交流推進は
⑤地主音南（となみ）議員…金山町の自然そして野生動物をどう守るのか
⑥松田慎平（しんぺい）議員…町の春夏秋冬の祭りやイベントを増やそう
※議長は三條陸斗（りくと）

～議会から町長に　要望書を提出～

町議会12月定例会閉会後、佐藤町長にペーパーレス会議システム導入費用の予算化を要望いたしました。

町で進めているDX（デジタル・トランスフォーメンション）の一環として、町議会でも議会活性化・DX推進特別委員会を設置し、町の将来に向けたDX推進のあり方の検討を重ねてきました。



議第４０号
令和５年１２月８日

金山町長　佐藤英司　殿

金山町議会議長　栗田保則

要望書

行政改革だけでなくエコロジーの観点からも、できる限りのペーパーレス化は避けては通れない課題であると言えます。

本議会は「議会活性化・DX推進特別委員会」を設置し、町の将来に向けてのDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進のあり方の調査、研究を進めてまいりました。

つきましては、町で進めているDX推進の一環として、議会運営におけるDXの導入について具体的な検討を行った結果、下記のとおり要望いたします。

記

1　要望の内容

ペーパーレス化によるコストの削減、議論の深化・効率化を図るため、タブレット端末を用いたペーパーレス会議システム導入に必要な費用について、令和６年度当初予算に盛り込んでいただくよう要望いたします。